

ハーマニー

No.
64

鮎貝地区まちづくり協議会

白鷹町大字鮎貝3994番地7 TEL 85-2342 / FAX 85-2341

令和2年7月15日

学校法人白鷹学園 白鷹高等専修学校

技能五輪
金賞



平成29年11月「全国技能五輪栃木大会」洋裁職種金賞第一位に輝いた研究生佐藤由菜さんの作品。（左側）

洋裁職種では、10時間でジャケット1着を仕上げ、その完成度を競います。

白鷹高等専修学校のあゆみ

- 昭和28年 まつかわ洋裁学院として発足
- 昭和29年 白鷹服装学院と改称
- 昭和45年 学校法人白鷹学園白鷹服装専門学校
- 昭和51年 学校法人白鷹学園白鷹高等専修学校
- 平成13年 山形県立霞城学園高等学校技能教育連携校

第2回は、学校法人白鷹学園「白鷹高等専修学校」（岡田勉理事長、梅津和吉校長）です。洋裁を学ぶ学校としてのイメージが強いかもかもしれませんが、現在は学習内容も多岐にわたったり、生徒は置賜全域から集まっています。男子生徒の比率も高まっています。また、山形県立霞城学園高校との連携で高校の卒業資格を取得できることなど、この学校ならではの特色がいろいろあります。

生き生きと学習している生徒の様子や校長先生ほか先生方の想いを載せましたので、先月のこぶしの家同様に関心を持っていただきたいと思います。

鮎貝地区にある
特色ある施設・組織の紹介

その2



白鷹高等専修学校では少人数の学校の特性を生かし、生徒一人一人の個性を受け止めてきめ細やかな指導を心がけているとのこと。そのようなこともあり、この学校への入学者は置賜全域から集まっています。また、学校経営を支えるために、補助金として白鷹町をはじめとして県や置賜全市町（3市5町）から支援がなされています。

中学時代とはまた違った生徒の生き生きと学習や活動する姿を見ていると、本当に必要とされている学校と感じます。

令和2年度在学状況（4月1日現在）

男子12名（1年生3名、2年生4名、3年生5名）

女子17名（1年生6名、2年生4名、3年生6名、研究生1名）

出身市町別 白鷹町6名、長井市6名、飯豊町2名、小国町2名

南陽市3名、高畠町2名、米沢市8名



← 1年生時は同じ課題を一緒に学びます。最初の製作はエプロン。



↑ 進路研修会では卒業生からも仕事のやりがいと苦労、後輩へのアドバイスがありました。

【昨年度の進路状況】

進学（専門学校2）

就職（企業4、市役所・福祉法人2）その他（1）

2年生はスカート、3年生はコートを製作中。先生が一人一人に丁寧に教えてくださいます。



↑ 家庭総合の授業では生徒それぞれがテーマを設け調べた結果を発表し合いました。

今回は、子育て支援センターの予定です。



お花やお茶で礼儀作法を学ぶ事もできます。またパソコンを使った情報の授業も。

8月3日開催予定の「座談会」は 中止させていただきます

今年も、町とコミュニティセンターの共催による「まちづくり座談会」を8月3日に出席者を限定させていただいて開催する予定でしたが、7月6日に長井市の方がコロナに感染したことなどを受け、急遽中止させていただくことになりましたのでご了承ください。

熊が各地に出没しています 気を付けて行動しましょう

先月と今月の2回にわたって赤坂地区内で体長70cm〜80cmの小熊が出ました。また、高岡の浄水場付近でも熊の足跡が見つかるなど、各地に熊が出たしています。

熊ばかりでなくイノシシも鮎貝地区内にいることが確認されていますので、それらに襲われないよう、充分気を付けて行動しましょう。

もし熊などを発見した時は役場農林課 ☎85161255にご連絡をお願い致します。

梅雨空に映える「七夕飾り」11本 来年はイベントもできますように…



四季の郷駅で楽しむ会（新野吉彦会長）が呼び掛け、今年も10の施設から出品された七夕飾りが7月3日から8日まで、四季の郷駅に飾られました。

短冊には「新型コロナが早く収束しますように」「ガンダムが早くもらえますように」などの願い事が書かれていて、訪れた人の目を楽しませてくれました。

13名がミニ畳づくりにチャレンジ 講評につき冬期間に第2弾を予定

7月1日、地元今間畳店の今間秀一さんの指導をいただいて「ミニ畳づくり教室」を開催しました。

様々な色や柄の畳表や縁を組み合わせ、自分だけの大小2枚のミニ畳を作りました。

作業の中では特に、縁の角を折り返すのに苦労しながらも、完成品を眺めながら出来栄に満足されていたようです。



スモークツリーが人気高

花木として市場からの人気も高いスモークツリーをご存じですか？。鮎貝地区では、サンファームしらたかと横山農場で出荷用として栽培されています。

箕和田地区にあるサンファームの畑では、ピンクフアーやルビーフアーなど何種類も植えられており、6月中旬から7月上旬に掛けて切り出し作業が行われました。まだ残っていますのでご覧ください。



品定めをする花木担当の樋口賢太郎さん

六月十六日（火）、五年生二十五名が、最上川黒滝橋上流の菖蒲側で鮎の稚魚を放流してきました。

鮎は当日の朝、鶴岡の三瀬センターで積荷され、約三時間かけて白鷹町にやってきました。数量は約二千五百匹で、一人一バケツずつです。五年生は、跳びはねてバケツから出てしまうほど元気な鮎を目にして、大喜びでした。

白鷹町は、紅花や和紙と同様に、鮎の里としても名が知られています。毎年九月の「鮎まつり」の時には、県内外からたくさんのお客が訪れます。今年は感染症拡大防止のために残念ながら鮎まつりは中止になりましたが、三年後、この日に放流した鮎が海で成長し、必ず返ってくることを祈りつつ、慎重に川に放してあげました。ここで「お魚クイズ」です。

①魚にも年齢や寿命がありますが、年齢は魚のどこを見ればわかるでしょう。

②海水と淡水を行ったり来たりできる魚は、なぜそれができるのでしょうか。

※ 答えは、①鱗 ②体の塩分調整ができるから



駐在所からのお知らせ

自転車保険に加入しましょう

7月1日から山形県の条例で「自転車の損害賠償保険加入」が義務化されました。

自転車利用中に相手に怪我を負わせた方の5割が10代で、その加害者の中には約9,500万円の損害賠償を請求された事例もあります。

車の任意保険に自転車保険を付帯させたり個人で加入している傷害保険などの特約に加入すれば、わずかな掛け金で万が一の場合の賠償に対応できます。



お盆の8月14日（金）は
事務所を休ませていただきます

夏まつりに続き

「レク大会」も中止となります

社会体育振興会の三役会を7月1日に行い、9月13日に開催予定の地区レク大会の可否について慎重に審議致しました。

その結果、今年度はコロナウィルスの感染拡大が心配されるため、中止とさせていただきます。

来年度は、また皆さんが一堂に集い、楽しく過ごしていただけることを願っております。今後ともご理解とご協力をお願いします。

社会体育振興会 会長 小口 裕之

これからの主な行事予定

7/25(土) 視距妨害樹木伐採
8/14(金) 事務所は休みです